

## 評価シート 様式

取組名	「住んでよし、訪れてよし」観光客と住民が共存するむら『HAKUBA』		
実施団体名	白馬村	対象地域	長野県白馬村
(代表団体名)	—	推薦団体名	—

① 実施 状況	提案書に記載された取組内容について、当初の計画通り実施されているか	② 実施 体制	平成20年度に行われた取組の実施体制について
	<input checked="" type="checkbox"/> 申請時に予定した取組を適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部が未実施となっている。但し、予定した主要な取組は適切に実施したと判断される。 <input type="checkbox"/> 申請時に予定した取組の一部又は全部が未実施となっており、特に主要な取組が実施されていない。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断される。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り地域の関係者が明確な役割分担の下、各々主体的に実施されたと判断されるものの、改善の余地が認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、主体的に実施されたと判断できない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)
③ 効果	平成20年度に行われた取組の当初目標の達成状況について	④ 継続 展開 の見 込み	平成20年度に行われた取組の継続展開の見込みについて
	<input checked="" type="checkbox"/> 当初設定した目標を達成し、実施した取組が予定していた成果をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 当初設定した目標の達成には至らないものの、実施した取組が予定していた成果の一部又は全部をあげたと認められる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組が当初の目標の達成に至らず、予定していた成果をあげることができなかったと認められる。		<input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り又は発展的に継続展開が予定され、持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input checked="" type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画とは一部異なるものの、取組方法の改善等により持続的・効果的に取組が進捗すると見込まれる。 <input type="checkbox"/> 実施した取組について、当初の計画通り持続的・効果的に取組が進捗するとは見込まれない。
	(備考・特記事項)		(備考・特記事項)

※①において「申請時に予定した取組とは異なる取組が行われた」場合や、③において評価シート作成時点で成果を把握できない場合など、留意事項がある場合に「備考・特記事項」欄に記載する。

## 評価シート 様式

取組名	「住んでよし、訪れてよし」観光客と住民が共存するむら『HAKUBA』		
実施団体名	白馬村	対象地域	長野県白馬村
(代表団体名)	—	推薦団体名	—

⑤ 総合評価	○ 複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果に関する所見 地域住民と外国人観光客のモビリティの確保に合わせ、外国人の日本文化交流の機会を提供する取組は、複合的で地域への波及効果もあるものと言える。
	○ 評価
	<input type="checkbox"/> ①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」の全てにおいて評価が高く、「地方の元気再生事業」の趣旨に鑑みて優れた取組であると評価できる。
	<input checked="" type="checkbox"/> 「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であると評価できる。ただし、①～④及び「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」のいずれかについて改善の余地が認められる。
	<input type="checkbox"/> ①～④のうち1以上の項目で評価が低く、「複合性、先導性・モデル性、相乗効果・波及効果」においても特筆すべき点が認められず、「地方の元気再生事業」の趣旨に合致した取組であるとは評価できない。
	(評価の考え方及び次年度以降に向けた所見)
	本取組は、観光客と住民が共存できる「むらづくり」を進めるという点で地域活性化に寄与する取組であると評価できる。今後の取組については、以下に留意しつつ地方の元気再生事業を継続することにより本格展開が期待できるものである。
	次年度は、海外観光客の受入に関しては、本年度の取組を踏まえて発展的な事業に重点化するとともに、本格展開に向け関係者との調整を進める等の取組を実施すべきである。併せて、外国人と日本人のコミュニティ融合に向けて、古民家での伝統的な生活体験など、交流メニューの一層の充実を図るべきである。また海外観光客の受入環境対策の整備については、人材育成も含め国際的な観光地として魅力を向上させる取組が特に重要と思われる。